

◇◇ 目 次 ◇◇

本調査の目的・趣旨

第1章 障害者の社会参加の現状	1
1. 障害者の現状	1
(1)障害者数	1
(2)障害の程度別障害者数の推移（身体障害者）	2
2. コミュニケーション手段、情報通信機器の利用状況	3
(1)コミュニケーション手段	3
(2)情報通信機器の利用状況	4
3. 障害者の社会参加の状況	5
(1)就業率、雇用障害者数	5
(2)就業形態別従事状況	6
(3)職業別従事状況	6
(4)一般の民間企業における産業別障害者の雇用状況	7
4. 社会参加にかかる課題	8
(1)必要な情報	8
(2)情報通信機器利用に関わる課題	8
(3)就労に関わる課題	11
5. 目指すべきユニバーサル社会～ICT利活用による障害者の社会参加、就労の促進 に向けて	15
第2章 障害者のICT利活用にかかる事例調査	16
1. 事例抽出方法と調査対象	16
(1)国内事例	20
(2)海外事例	22
2. 事例調査まとめ（評価・分析結果）	24
(1)障害者のICT利活用を通じた社会参加活動	24
(2)障害者のICT利活用による社会参加を支援する団体/機関等の取り組み	29
第3章 障害者のICT利活用による社会参加の効果	32
1. 本人への効果	32
(1)情報入手機会の拡大	32
(2)コミュニケーションの拡大	32
(3)意欲の喚起	34

(4)就労機会の拡大	34
(5)ビジネススキルの向上、実績作り	36
(6)社会参加活動や就業による自己実現、生きがい	36
2. 周囲への効果	39
(1)家族の安心・負担の軽減	39
(2)周囲への波及効果（ICT機器利用の広がり）	39
3. 地域への効果	40
(1)他の障害者に対する自己研鑽等の動機付け	40
(2)地域の共同意識、コミュニティ醸成	40
第4章 障害者のICT利活用による社会参加のための支援の在り方	42
1. 障害者への支援	42
(1)普及・啓発	42
(2)情報環境整備	43
(3)ICT技能習得	44
(4)社会参加支援	47
2. 企業への支援	48
(1)障害者雇用のための普及・啓発、情報提供	48
(2)障害者受け入れのためのコンサルティング	49
3. 支援団体、自治体、地域における有効な支援実施のための方策	50
(1)ノウハウ、リソースの共有	50
(2)仕事受注の促進	50
(3)連携の強化	52
4. 障害者ICT利活用支援の在り方（総括）	55
(1)地域における総合的な支援の実施	55
(2)コーディネート機能の充実	56
(3)障害者の自立のための支援	56
第5章 最後に	57

《資料編》

1. 高齢者・障害者のICT利活用の評価及び普及に関する調査研究会
2. アンケート調査の概要
3. 事例調査結果
4. 障害者のICT利活用に関わる中央官庁の施策